

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	学外実習Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	2018-18		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	5	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	なし				
担当教員	西田 友久				
到達目標					
1. 実習をとおして学問の実際的意義を説明できる。 2. 技術者としての労働観・職業観を説明できる。 3. 実習の目的、実習の成果などを事前レポート・実施報告書・報告会をとおして説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	実習をとおして学問の実際的意義を具体的に説明できる。		実習をとおして学問の実際的意義を説明できる。		実習をとおして学問の実際的意義を説明できない。
評価項目2	技術者としての労働観・職業観を具体的に説明できる。		技術者としての労働観・職業観を説明できる。		技術者としての労働観・職業観を説明できない。
評価項目3	実習の目的、実習の意義を、事前レポート、実施報告書・報告会をとおして具体的かつ明確に説明できる。		実習の目的、実習の意義を、事前レポート、実施報告書・報告会をとおして説明できる。		実習の目的、実習の意義を説明できない。
評価項目4					
学科の到達目標項目との関係					
【本校学習・教育目標 (本科のみ)】 5					
教育方法等					
概要	長期休業中 (原則として夏期休業中) に、企業または研究機関等において実習を行い、生産現場または研究機関等における研究・開発・生産などの活動を体験する。工業技術の体得とともに、実務経験を通じて技術者としての労働観、職業観を育成する。実施期間は1週間 (30時間) とする。				
授業の進め方・方法	受入先機関における実習実施期間は1週間 (30時間) 程度とする。				
注意点	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス I	教育目標・授業概要・評価方法等の説明	
		2週	ガイダンス II	受入先機関選定の方法	
		3週	事前研修 I	応募書類の作成方法	
		4週	事前研修 II	事前レポートの作成	
		5週	事前研修 III	合同事前研修	
		6週	受入先機関での研修 I	内容は受入先機関との協議により決定	
		7週	受入先機関での研修 II	内容は受入先機関との協議により決定	
		8週	受入先機関での研修 III	内容は受入先機関との協議により決定	
	2ndQ	9週	受入先機関での研修 IV	内容は受入先機関との協議により決定	
		10週	受入先機関での研修 V	内容は受入先機関との協議により決定	
		11週	事後研修 I	実施報告書作成	
		12週	事後研修 II	実施報告書作成	
		13週	事後研修 III	プレゼンテーションの手法	
		14週	事後研修 IV	プレゼンテーション資料作成	
		15週	事後研修 V	報告会	
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	履歴書・エントリーシート	事前学習レポート	実施報告書	報告会	開始・終了報告	その他	合計
総合評価割合	10	25	25	30	10	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	10	25	25	30	10	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0